

## 福井県立病院陽子線がん治療センターの概要

平成23年3月6日、日本海側で初めての陽子線がん治療施設がオープンしました。治療開始後9か月が経過し、現在も順調に治療が行われています。

今号では、施設の概要と治療の現況等についてお知らせします。

### ①施設概要

福井県立病院は、約1,000床の総合病院で、当センターは本棟の北側に併設されています。延床面積は、地下1階、地上3階の5,900 m<sup>2</sup>で、1階は主に治療フロア、2階は検査関連のフロア、3階はミーティング等のフロアになっています。

現在のスタッフは、医師4名、医学物理職3名、診療放射線技師7名、看護師2名、電気機械職1名、事務職3名（受付委託1名含む）および治療装置運転委託員4名です。

### ②治療室3の機能

治療室3は、現在可動していませんが、当施設の特徴として、積層原体照射システムとCT自動位置決めシステムの導入を予定しています。

まず、積層原体照射システムについてですが、がん病巣をいくつもの層に分けて照射を行う方法（下図参照）で、がん病巣周囲の細胞に放射線の影響をより少なく抑えることが可能です。

CT自動位置決めシステムでは、従来でのX線2次元画像との位置決めとは異なり、CT画像（軟部組織の描出）を位置決め画像に利用した高精度な自動位置決めで、将来的には3次元的な情報も取り入れた位置決めを行う予定です。上記2つのシステムは、薬事承認を経たからの予定で、現在計画中です。



【福井県陽子線がん治療センター（手前の低層建屋）：  
地下1階、地上3階】

#### ・各階説明

地下1階：ボーラス、コリメータ加工室等

1階：受付、診察室、治療室、加速器室等

2階：治療計画室、PET検査室、CTシミュレータ室、MRI室等

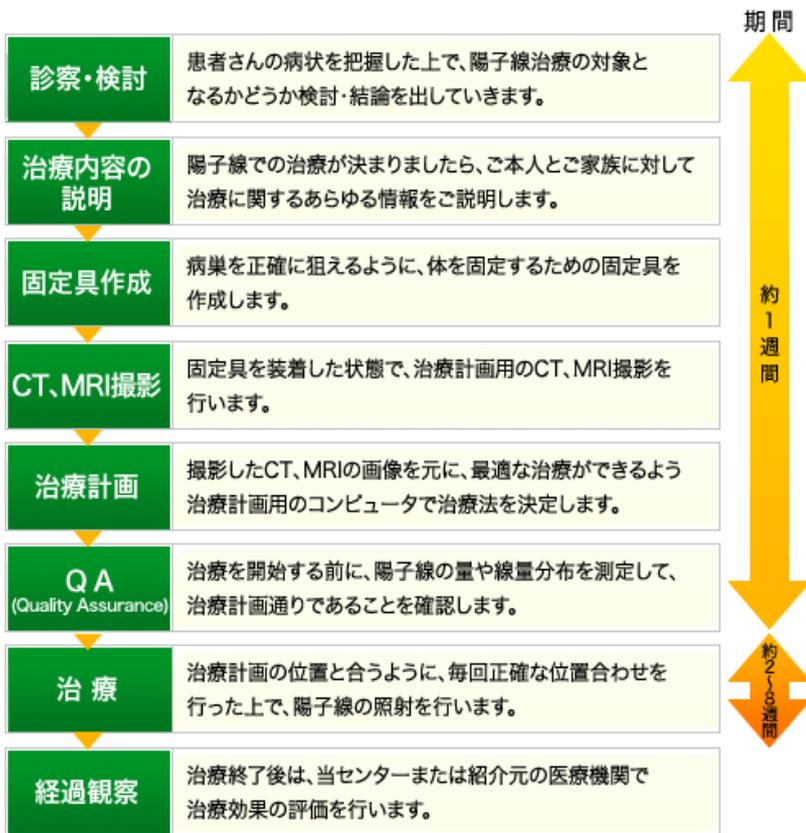
3階：研究室、カンファレンス室、スタッフ室等



【陽子線センター1階概要図】

### ③陽子線治療の流れ

陽子線治療を受ける患者さんの病状を把握した上で、「診察」→「治療内容説明」→「固定具作成」→「CT, MRI撮影」→「治療計画」→「QA」→「治療」→「経過観察」のとおり行っています。（下図参照）



【陽子線治療の流れについて】

④治療対象疾患についての治療基準

- ・頭頸部腫瘍：  
26～35回/5.2～7週
- ・非小細胞肺がん：  
10～22回/2～4.5週
- ・肝細胞がん：  
20回/2～4週
- ・前立腺がん：  
37回/7.4週
- ・転移性腫瘍(肺, 肝, 骨, 軟部)：  
8回/1.6週

なお、対象となるがんについては、他の医療機関で実施されている陽子線治療等の結果を参考にし、今後追加していく予定です。

⑤治療費、優遇制度、先進医療

・治療費について

現在、公的医療保険の対象ではありません。治療費は治療回数により異なります。

- [照射回数と治療費用]
- 1～20回：240万円
  - 21～25回：250万円
  - 26回以上：260万円

・優遇制度について

[治療費の助成]

対象：福井県にお住まいの方  
内容：陽子線治療費（240～260万円）について、1治療あたり25万円を助成

[交通費の助成]

対象：福井県嶺南地域（敦賀市以西）にお住まいの方  
内容：陽子線治療を受ける際に、通院あたり3,000円を助成

[利子補給]

対象：福井県内にお住まいの方で、課税総所得が600万円以下の世帯に属する方  
対象金額：金融機関からの借入額235万円以内（陽子線治療費相当額以内）  
対象利率限度：年利率6%以内  
利子補給率：

- ・所得税非課税世帯 10/10
  - ・課税総所得600万円以下の世帯 1/2
- 利子補給期間：第1回利子支払い日から5年以内

・先進医療について

対象：陽子線がん治療を受けた方  
内容：本年6月1日より、陽子線治療に係る「陽子線治療費以外」の診察料・検査料・投薬料・入院料等について公的医療保険の対象となっています。これにより、民間医療保険の先進医療特約の対象になり、患者さんのご負担が軽減されます。

※なお詳細は、当センターホームページに記載

E-mail: [youshisen@pref.fukui.lg.jp](mailto:youshisen@pref.fukui.lg.jp)